

こども園経営方針（中期経営目標）		前年度の成果と課題		本年度こども園経営の重点（短期経営目標）	
<p>こども園教育目標 「元気な体と豊かな心、生きる力を持ったたくましい子ども」</p> <p>《元気 勇気 笑顔 つながれ仲間》 ～ぼくも わたしも みんなだいすき 一緒にあそぼう！友達っていいな～</p> <p>1. 園児自らが興味関心をもって環境に関わり、心豊かでたくましく、生きる力を育てる。</p> <p>2. 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、人権を大切にすることを育てる。</p> <p>3. 相手の思いを受け止めながら、自分の思いや考えを表現する力を育てる。</p>		<p>○様々な活動をする中で、自分の思いや考えを伝えようとする園児の姿がたくさん見られるようになった。職員が仲立ちをすることにより少しずつ互いを受け止め、認め合う姿も見られるようになってきた。</p> <p>○異年齢の行動を真似てやってみたり、一緒に遊んだりする中で、我慢や悔しい気持ち、友達の役に立つ喜びなどの体験を重ね、活動を発展させることができるようになってきた。</p> <p>○各クラスの活動の様子を配信することで園での子ども達の様子を伝え、保護者と園の教育方針やねらい等を共有することができた。</p> <p>△園の公開保育は学園内の幼児教育の理解につながっているが、研修会等は学校のように全職員が参加することができず、限られた職員のみでの参加であるため、園内での職員のしっかりとした周知の必要性を感じた。</p> <p>△泥田んぼや山遊びを始動しようとする熊騒動に遭遇し、自然環境を活用した教育保育を十分に行うことはできなかった。子どもの安全第一に考えながら好奇心や探求心が育まれる環境を探っていきたい。</p>		<p>・一人一人の思いや育ちに寄り添い、心の通い合いをもとに心つながる集団づくりをめざす。</p> <p>・ありのままの姿を受け止めることで自尊感情を高め、自己を発揮できる環境づくりに努める。</p> <p>・身近な人やもの、自然と豊かにかかわる体験を通して様々な感情をともに分かちあい、豊かな心情を育む。</p> <p>・互いに認め合うあたたかな関係づくりを土台に心つながる集団づくりに努める。</p> <p>・人権尊重の精神を基盤とし、自他を大切にすることを育てる。</p>	
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題（自己評価）	学校関係者評価	
保幼小中一貫教育の推進（保幼小接続）	<ul style="list-style-type: none"> ・久美浜学園の教育目標、目指す子ども像に基づき取り組みを進める。 ・保育所、こども園、小中学校の連携をとりながら相互理解を深め、連続的な成長を促し、就学に向け滑らかな接続となるようにする。 ・楽しい園生活を繰り広げる。 ・遊びを通して、好奇心や探求心を刺激し、主体的に考え、行動する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の会議や授業参観に積極的に参加して、職員間で取組の柱（職員の協働、対話と理解、落ち着いた園づくり、行動連携、保護者、地域とともに）を共通理解できるようにする。 ・小学校と連携し、公開保育や授業参観等を通して、互いの教育の理解を深める。 ・園児や保護者の思いを受け止め、居心地の良い中で生活習慣が確立できるような環境づくりを進める。 ・園児一人一人の姿を肯定的に受け止め、失敗しても大丈夫と安心感を与えるような言葉かけに努め自己発揮できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○久美浜学園夏季研修会をリモートで開催することで、大勢の職員が参加でき、学園の取組内容を理解する機会となり良かった。 △保護者への学園内の活動を学園通信等で知らせるは理解を得ることは難しかった。 ○公開保育をすることで幼児教育の理解へとつながった。また、小学校の授業参観を通してタブレットの活用やICTを使った授業づくり、地域の良さを伝えるプレゼンテーション等生活科の授業内容を知ることができた。 ○保育教諭同士が連携し、子どもの情報共有をしっかりと行うことで、子ども一人ひとりにあった対応ができ、安心できる関係性を築くことができた。どの職員も同じ気持ちで子どもを見守る関わりが子どもにとって良い人的環境になってきた。 ○他の子どもと比較せず、個々のありのままの姿を受け止め、小さな変化や努力する姿を丁寧に拾い上げることで信頼関係を築き自己発揮の背中を押すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校と交流することは良いことである。保護者に保幼小中一貫教育への関心をもってもらうためには、継続してたよりを配信することが必要だと思う。 ・いろいろな運動遊びに日々挑戦していることを、運動会の競技内容に取り入れて頑張る姿から伺うことができた。 ・運動会の表彰式が長かったが、幼児クラスが全クラスとも待つ姿勢が良く驚いた。 ・運動会を見た後、発表会を見ることで子ども達の成長を感じることができた。また、園の教育方針を知る機会となった。 ・生き生きと発表する姿から保育教諭の温かい関わりを感じることができた。 	

<p>教育課程</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安定した中で、主体的に園生活を繰り返しながら言葉や態度で表現しようとする園児を育てる。 ・様々な人との出会いやものと関わる活動を取り入れコミュニケーションをとりながら、人との関わりを楽しめる子どもの育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で、自分の思いや考えを伝える、相手の話を聞く、受け止めるなどの体験を通して互いを認め合い大切にする心を育てる。 ・園内外の人と関わる機会（絵本の読み聞かせ、など）を取り入れ、言葉の意味や響き、面白さや美しさなどを味わい、人に対する信頼感や思いやりの気持ちが持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分とは異なる友達の考えに触れたり、いろいろな考えを知ったりすることで、他者を理解しようとする姿勢や、自分の気持ちに折り合いをつける力が少しずつ育まれた。 ○月に2回読み聞かせボランティアに来てもらうことで家族や園の職員以外の地域の人と関わることでいろいろな人に見守られているという安心感が育まれた。また、絵本を通して、新しい言葉や表現を自然に覚えたり、語彙力や文の構造、リズム感も身についたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に協力してもらい交流することでいろいろなことが経験できる機会を得られるので今後も機会を逃さないように地域や保護者と共に取組を進めて欲しい。
<p>子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子育ての喜びや楽しさを実感できるようにする。 ・安心して子育てができるように保護者の気持ちに寄り添い、支援するとともに保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるようにする。 ・子ども達が健やかに育つ環境を整え、子育てへの自信を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時や個人懇談会等で、園児の良さや変容等を保護者に伝え、共に成長を喜ぶとともに子育ての楽しさや悩みを相談できる場や機会を設ける。 ・園での子ども達の様子をドキュメンテーションや動画配信等で伝え、遊びを通して身体発達とともに探究心を育み、様々な物事に興味や関心をもち意欲的に取り組む力を培っていくことを保護者と共有し、信頼される園づくりに努める。 ・園庭開放日や園開放日を通して、親子が触れ合ったり、園児同士の交流から保護者同士が話すきっかけだったりする場となるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各家庭での子育ての方法を否定せず、安心できる言葉で寄り添い、送迎時には子どもの変容をこまめに伝えることで、保護者と一緒に成長を喜ぶことができた。 ○ドキュメンテーションを配信することで園での活動を具体的に理解してもらい、それらの内容から保護者との会話が増え、信頼される関係づくりにつながった。 ○園庭開放は保護者同士の交流ができたり、園児の友達と関わる姿を見たりする機会になり、短時間ではあるけれど話がしやすい雰囲気はできた。また、未就園児の園開放日は園の様子を知らせる良い機会になった。 △延長保育を利用している保護者は園庭開放の時間利用したくてもできない。園庭開放の時間を延長することで延長保育利用者の利用が増えるのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園での活動の様子を全て知ってもらうことは困難であるが、保育支援システムコードモンで園の行事等知らせることで子どもの姿がよくわかるし、保護者の安心感につながると思う。 ・地域の子育て支援では、月に1回サロンを行い、他地域からも参加者がいる。子育て情報アプリでも多数の登録者が京丹後市にいて、色々な情報を見たり情報交流をしたりしている。もっと情報提供して支援センターや園開放の人数が増えることを期待する。
<p>特色ある園づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人や自然環境を生かした活動を取り入れ、地域と協働した教育、保育を目指す。 ・自然体験やSDGsについて考え、日常生活でも意識づけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や地域のボランティアの協力のもと、身近な自然環境を生かした遊びや活動の環境を整え、五感の刺激、問題解決能力、探求、創造力、コミュニケーション能力などを育むようにする。 ・ペットボトルキャップ収集や微生物による堆肥づくりなど環境を保護する知識や意識を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○山遊びを通して、科学的視点、生命の尊さ、制作あそびのおもしろさなどいろいろな興味や関心が広がった。また、山をきれいに使おうとする姿勢が見られ、環境を守ろうとする気持ちの土台へとつながった。 ○海岸の環境整備活動に参加したことで実際に海に漂着しているごみを拾うなど、美化への意識が芽生えた。 ○SDGsを取り入れたペットボトルキャップの回収は人を助けることにつながったり環境にも良いことを知ったりする良い機会になったので、今後も継続していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動では地域の人と園とが一緒になって取り組むことができてよかった。 ・園ならではの四季の自然環境を取り入れた山遊びは、こども園の特色になっている。

次年度に 向けた 改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none">・園児一人ひとりが安心安定し、「やってみたい」と心動かし「やってみよう」と主体的に活動するための環境を探っていきたい。・運動遊び等を取り入れ、繰り返し挑戦するなかで、体の使い方が身につく、体を動かすことを楽しむなど健康な体づくりに努める。また、相手の様子に気づき、応援したり待ってあげたりするなど思いやりの心やコミュニケーション能力も育むような教育・保育を進めていく。・様々な地域の特色を生かし、教育・保育に取り入れ、自然体験や感動体験を味わう中でふるさとを愛する心を育ていけるように努める。	
---------------------------	--	--